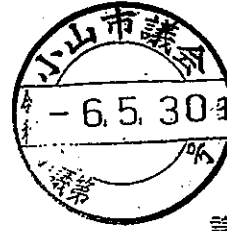


視察調査・研修会等報告書

令和6年5月28日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様



議員氏名(篠崎 佳之)

研修・視察年月日	令和6年5月20～21日
研修会場・視察先	福島県郡山市国民健康保険課 山形県東根市公益文化施設『まなびあテラス』
研修名・視察目的	郡山市不当利得なくし隊によるこども医療費全額回収について 東根市公益文化施設「まなびあテラス」について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	郡山市国民健康保険課 ■■■課長補佐、■■■係長 東根市教育委員会生涯学習課 ■■■係長 まなびあテラス ■■■総合館長、■■■統括責任者
参加議員(同行者)	関良平、小川亘、福田洋一、福田幸平、高橋栄、廣瀬武蔵
調査概要	<p>郡山市こども医療費全額回収について</p> <p>郡山市は人口約32万人、県の中央に位置し安積開拓により開かれた地域で、鉄道、高速道路が交差する関東と東北、太平洋側と日本海側を結ぶ要衝にある。コメの産出額は県内1位額。樂都郡山を進める。</p> <p>資格喪失後に国民健康保険者証を誤って使用した場合、医療費(保険給付相当額)を利用者が、旧保険者の負担した医療費をいったん全額支払う必要があり、保険者の債権確保や事務手続きが大きな負担であった。そのための解決策として、2015年より保険者間調整として、直接利用者を介しない仕組みを導入した。しかし福島県が18歳以下のこども医療費を無償化したことにより、地方単独事業は医療保険の保険者間調整とは別であったため、無償化された医療費(現物給付分)を旧保険者である国保課へ一度支払い、子ども支援課へ領収書持参の上生産していた。国保課には債券確保、事務手続きが大きな負担であり、利用者からも不満の声があり、保険者間調整と併せ、委任状の提出により代理行為(こども医療費等の振り替え)を可能にした。</p> <p>これにより大幅に事務処理時間が削減し、不良債権化の防止につながった。</p> <p>今後は保険証のオンライン化により保険者間異動の判明が迅速化すれば不良債権が減少するのではないか。またこども医療費以外での活用を図ることが課題。</p>

視察調査・研修会等報告書

	<p>東根市まなびあテラス について</p> <p>東根市は人口約4万7000人、県の中央部、山形盆地の北部に位置し、山形空港、東根 IC、山形新幹線さくらんぼ東根駅など交通の中心地にある。サクランボ、西洋梨の生産量が全国有数。</p> <p>まなびあテラスは平成28年11月にオープンした図書館、美術館、市民活動センター、都市公園などを併設した公益文化施設である。</p> <p>整備手法は設計、建設、維持管理、運営を一括して発注するPFI方式を採用し、特別目的会社 SPC の(株)メディアゲートひがしねに管理運営業務を委託している。事業期間は平成26年9月～令和18年10月31日事業費6,554,837,700円(うち施設整備費3,452,414,749円)。</p> <p>図書館は約18万冊の蔵書、美術館には市民ギャラリー、特別展示室、アトリエが備わっており、市民活動支援センターに情報ラウンジ、プリント工房、講座室、その他施設としてカフェ、メディア&アートショップがある。</p> <p>その結果、図書館のスタッフやカフェの定員に地域住民を雇用することで雇用創出効果も出ている。</p>
<p>市政の課題等に対し、 どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>郡山市こども医療費全額回収について</p> <p>不当利得によるこども医療費の回収はそもそも国保加入者が社保加入になった際に届け出が遅れると、その間の受診分(保険者負担分)を国保が払うことになり、この誤って支払ってしまったお金を受診した方に返納請求するのが回収の仕事である。この手間を無くそうとして、国保課と子ども支援課間の調整を受診者が同意書に署名捺印するだけで精算を完了させる仕組みである。小山市でも参考になる事例である。</p> <p>東根市まなびあテラスについて</p> <p>東根市にもともとあった図書館は少ない蔵書数であり、美術館はなく、生涯学習活動の作品展示する専用の場所もなかった。そのため、市民の文化振興の拠点として施設の整備が待ち望まれていた。東根市まなびあテラスは、PFI方式で整備したことにより、維持管理・運営の企業が設計段階から参画できるため、効率的な施設となり低コストで質の高いサービスを提供できる。</p> <p>小山市でも参考にしたい。</p>

視察調査・研修会等報告書

令和6年8月9日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(篠崎 佳之)

研修・視察年月日	令和6年8月4～6日
研修会場・視察先	福井県若狭町年縞博物館 福井県福井市教育委員会 富山県高岡市都市創造部
研修名・視察目的	福井県年縞博物館の運営について 福井市の学校教育について 高岡市新高岡駅周辺整備事業について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	福井県年縞博物館ナビゲーター ■■■■■ 福井市教育委員会学校教育課 ■■■■■ 課長補佐、教育総務課 ■■■■■ ■■■■■ 主幹 富山県高岡市都市計画課 ■■■■■ 係長、■■■■■ 主事
参加議員(同行者)	関良平、福田洋一、福田幸平、高橋栄、廣瀬武蔵
調査概要	<p>年縞博物館について</p> <p>年縞博物館は福井県三方五湖の一つの水月湖に堆積した地層が7万年にわたり、荒らされることなく年代測定に役立つということで、世界に類を見ることがないために展示された博物館である。その積み重なった年縞が正確に年代測定に生かされるため、7万年間の自然環境、自然現象や地球科学の解明に役立つ研究がなされている。</p> <p>年縞の発見の経緯は偶然であり、たまたま、水深の浅いとなりの三方湖の調査から水深の深い水月湖の調査をすることで発見することになった。また、偶然にも汽水湖の水月湖は湖底の硫化水素の濃度が高く、生物の生存が不可能のため、湖底が魚などに荒らされることがなかったことが年縞がそのまま残った要因とされる。</p> <p>博物館は6名のナビゲーターが案内人として館内の説明をしている。ナビゲーターはいずれも県から委嘱された定年退職された決して専門家ではない方であった。</p> <p>建物は県産材を活用した2階建てであり、7万年分の年縞を展示するため45mの横長となっている。また、共同研究の立命館大学の研究棟が隣接しており、そこに採取した年縞の保管庫もある。敷地となりには町の縄文博物館も隣接しており、歴史も学ぶ上で、格好の場所となっている。</p>

視察調査・研修会等報告書

福井市の学校教育について

福井市は人口約25万6000人、県の北部、福井盆地に位置する県庁所在地である。

福井県の小中学生の学力の高さは有名であるが、福井県の学級編成基準は小学校では35人、中学校は32人が基準となっている。

教育委員会の取り組みでは地域に生きる学校づくり推進事業として、園・小・中の交流や家庭や地域との連携として、1校当たり21～60万円を支援している。また、キャリア教育の充実や居場所づくり・絆づくり、ICTの活用などを行っている。

学力の状況と取組について、特にSASAという福井県教育総合研究所が主体となって昭和26年から実施している学力調査と全国学力・学習状況調査を年間を通してPDCAサイクルで継続的に活用していることが大きな成果を生んでいる。

その他、市の指導主事が学校を訪問するなど授業づくりを重視したり、教員研修にも力を入れている。また、先生の複数学年の縦持ち、教科ごとの自主研究組織、三世帯世帯の割合の高さなどの家庭・地域の環境が子どもたちの学力を支えてきたと考えられている。

新高岡駅周辺整備事業について

高岡市は富山県西部、人口約16万3000人、面積約210km²、富山県第二都市である。小山市に似た立ち位置にある。

整備事業の経緯は平成21年度に土地区画整理事業の都市計画決定がされ、平成23年度に周辺環境整備検討委員会、翌24年度に新駅周辺整備エリアマネジメントプロジェクトチームの発足、平成27年北陸新幹線開業となる。

まず高岡市では平成12年度に策定した高岡都市ビジョンの中で、高岡駅と新高岡駅の広域的な位置づけとまちづくり方針を策定している。平成16年度に北陸新幹線新高岡駅(仮称)周辺整備計画を策定し、整備方針図を作成している。平成18年度には新高岡駅(仮称)周辺まちづくり計画を策定し、広場や駐車場などの都市機能配置の決定、駅舎及び周辺の景観検討などを行っている。平成20年度以降、市道3路線の都市計画決定、新高岡駅建設予定地の市街化編入、用途変更、区画整理事業の都市計画決定、地区計画変更、容積率変更を繰り返してきた。

土地区画整理事業は施行者が高岡市、面積5.48ha、期間平成22年度～28年度、総事業費約26億円、減歩率32.71%、施工後の47.23%が道路、広場、公園の公共用地である。その他は駐車場やオフィス、ホテル用地となる。

周辺整備の事業費は104億円、うち国庫補助等47億円。

視察調査・研修会等報告書

<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>福井県年縞博物館について 偶然の産物でできたような博物館であるが、世界的に希少な展示物のある一点モノに絞った博物館である。都市から離れて立地しているが、現場にそのまま建設された博物館であり、理にかなっているのではないかと思う。</p> <p>福井市の学校教育について 福井県は教育県で知られているが、もちろん、努力もあるが様々な要因が複合的に絡んでいることが理解できた。一都市だけで達成できるわけでもない。県を挙げての体制作りも必要であろう。</p> <p>高岡市新高岡駅周辺整備事業について 新高岡駅は高岡駅との分離駅であるので、小山市と一概に比べられないが、計画的に考えられた新都市である。新高岡駅と高岡駅とを接続する JR 城端線、そして人口が減少している中で、新高岡駅と高岡駅の間のみちづくりも重要と考える。</p> <p>小山市でも参考にしたい。</p>
---	---

視察調査・研修会等報告書

令和7年3月28日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様



議員氏名(篠崎 佳之)

研修・視察年月日	令和7年3月24日～26日
研修会場・視察先	地方議員研究会 京都市京都 JA ビル
研修名・視察目的	質問作成虎の巻、急激悪化地方の財政 歳入増加策、 持続可能な歳出削減策 質問づくりの本質とは、質問のための情報収集
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	元京都市議会議員 村山祥栄 元交野市議会議員 黒瀬雄大
参加議員(同行者)	
調査概要	<p>質問作成虎の巻について 質問の作り方①情報収集に始まり、情報収集に終わる②当局の知らない独自の情報を入手せよ③角度と論理構成を変えれば良質な質問へ④霞が関の権威を利用せよ⑤一回きりで終わらせない⑥役所の痛いところを突く⑦常識を覆す意外性要素を入れろ⑧潰されずに戦え！潰されるなら取引せよ⑨信念と熱量 熱意が人を動かし信念が人を惹きつける</p> <p>急激悪化地方の財政歳入増加策について 自治体財政圧迫の主要因 ①財政運営に問題がある(減債基金の取り崩し)、②国の問題・臨時財政対策債、③社会保障費の増大 財政再建歳入編 ①ふるさと納税、②民間活用維持管理手法(ネーミングライツ)、逆公募型プロポーザル、③保有財産の有効活用(公有地の再点検)、④超過課税、法定外新税(宿泊税、環境税等)</p> <p>持続可能な歳出削減策について 財政再建は歳出ベース ①予算編成を見直せ(大阪府の例)、②選択と集中(明石市の例) 行政改革 ①事業の見直し、②無駄遣いのチェック 歳出見直し ①生活保護対策、②金を借りてモノを作る時代は終わった(PPP)</p>

視察調査・研修会等報告書

	<p>人事制度改革 ①給与表を見直せ</p> <p>質問づくりの本質とは 質問の目的 普通の質問と議会の質問の違い 質問の基本 自治体職員の一般質問に対する正直な思い 良い質問・悪い質問の具体例 良い質問の「たちつてと」 役所を動かす質問 黄金のフレームワーク</p> <p>質問作りのためのデータの集め方 質問の前の段取り 効果的な質問のタイミング 質問を作る発想術 自分の強みを質問に活かす 資料の探し方 他市の先進事例、RESAS、Openwork、Chiholog 役所の資料は質問づくりの宝庫 決算審査意見書、予算編成の留意事項</p>
<p>市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等</p>	<p>両講師とも市議会議員経験者であり、実体験に基づく講演は大変興味深く、参考になった。それぞれの講師の特徴が出ていて人となりが分かり、議員としてこれからの活動に参考になった。</p> <p>村山講師の話は面白く、熱量のある方で、とても真似はできないと感じた。こんな風に活動すれば役所も動かざるを得ないだろう。ただ、議会と執行部と車の両輪と考えるのであれば、村山講師の議員時代の京都市会は大変だったろうと想像する。議員として、市政を質すより首長向きの講師ではないか。</p> <p>黒瀬講師は市役所職員、市議会議員、研究者、民間企業勤務の経験があるので、それぞれの目線で議会活動を捉えて講演してもらえた。市役所職員も市議会議員も市政を良くするために働いているつもりでも、視点が違えば、立場も違うし、考え方が変わってしまうので、なるほどと承知した。</p> <p>今回は質問の作成手法とその中身の財政政策についての研修であったが、役所の裏事情の話も聞けて、質問作成の大いに参考になると思う。小山市は財政力指数0.95、経常収支比率89.0、実質公債費率6.2、将来負担比率78.7と他市と比べてそんなに悪い数字ではないが、今回の研修を活かして、今後ともさらに改善できるよう議会で尽力してまいりたい。</p>